

会議名		第4回 内灘町外部評価委員会
日時		平成27年11月24日(火) 13:30~15:30
場所		4階 404・405 会議室
出席者	委員	木村高宏 委員長、小林清 委員、松川祐子 委員、濱田陽子 委員、森眞一郎 委員
	事務局 (財政課)	向貴代治 総務部長、長谷川徹 課長、北正樹 課長補佐、櫻井彰 主事
審 議 内 容		
事務局 委員	<p>1. 外部評価意見のとりまとめ 資料にもとづき説明</p> <p>今年度の外部評価対象5事業について、各委員より事前に提出された意見を基にして、事務局で作成した原案を精査・修正し、委員会としての評価をとりまとめた。</p> <p>①町民夏まつり実行委員会補助金 補助金事業自体の継続の必要性は認めるが、継続にあたっては実行委員会に以下の二点について改善を促すべきである。 第一に、来場者数の実数や来場者層、出店者の売上高や花火のスポンサー収入の推移を把握すること。第二に、実行委員会の運営について、各委員の主体性の発揮を強めるように見直すこと。</p> <p>②福祉タクシー利用料金助成事業（高齢者・障害者） 福祉タクシーの利用料金助成については、利用実態を把握するとともに、現在の「1度につき1枚」という利用方法の制限が利用者にとって適切かどうかを、その利用実態にもとづいて検討すべきである。 また、制度の趣旨に照らして、現在事業対象外となっている施設入所者等も含めた、対象者の見直しについても検討すべきである。</p> <p>③防災対策事業 町の防災計画における防災士の位置づけを明確にすること。 防災士の資格取得を依頼する際には、災害時に有効に対応できる人を、地域と町が連携して人選するなど、災害発生時に生じうる状況を想定した体制づくりが必要である。 加えて、防災行政無線の戸別受信機の設置については、活用方法や設置場所など、運用方法の見直しが必要である。</p> <p>④学童保育事業 学童保育料の未納額に対する適切な会計上の処理は必要である。 児童の安全安心の確保の観点から有効な事業と考えられるが、児童支援員の資質や配置について、適宜検証すべきである。</p>	

事務局	<p>今後の展開については、低所得者に対する負担軽減策の新設の可能性や、保育料の減額ならびにサービス向上の観点からの指定管理の導入の可能性についても、検討が必要である。</p> <p>⑤砂丘フェスティバル実行委員会補助金 参加者数や参加者層によれば、フェスティバルは必ずしも町民全体に対して「目的」が達成されるような事業とはなっていないように見受けられる。今後のフェスティバルの開催にあたっては、常にフェスティバルの目的を意識した上で、誰に対してどの「目的」達成に資するような事業を行うのか考慮された、内容や開催方法等の検討を委員会に促す必要がある。</p> <p>2. 今後の予定について 町長への報告は、委員長と日程調整の上、11月下旬～12月中に行う。</p>
-----	---